全国虹の大会　性的マイノリティの理解を進める愛媛大会　実施報告

参加人数　　275人（12の分科会と交流会の延べ参加人数は1，037人）

開催時期　　2016年 8月 6日（土）～ 8月 7日（日）

会場　　松山市男女共同参画推進センター(コムズ)

主催　　レインボープライド愛媛

共催　　松山市人権教育推進協議会

地方で初となる性的マイノリティの全国大会を松山で開催することができました。交通アクセスは決して便利とは言えない愛媛ですが、魅力的な分科会が12も集まり、県内外からたくさんの皆さんが参加され成功裏に終えることができました。「性的マイノリティのことを勉強したい」という、当事者以外の方も多数ご来場され、行政や教職員の皆さんの参加も多く、参加の方同士の交流が進み意義深い大会となったと思います。

分科会は、「地元NPOとどう連携できるか」、「LGBTQ 電話相談の支援報告とケースワーク」、「LGBT にまつわる法律相談から」、「手話ろう！ろうLGBT in 松山」、「初の全国意識調査から見えてきたもの」、「医療の現場と性的マイノリティ」、「愛媛における行政の動き、そして全国では？」、「LGBT の困難解消に向けて、実現したい法制度」、「宝塚での LGBT に対する不適切発言から相互理解を考える」、「中学校で性的マイノリティをどう扱ったか？」、「つないできた10年～親としてアライとして～親御さんたちの活動」、「性分化疾患を知る～LGBTがDSDを持つ子どもたち・人々・家族のアライになるには～」といった多岐に渡るテーマで行われ、参加者に様々な切り口で性的マイノリティについて考える機会を提供でき、人権課題としての性的マイノリティへの理解を進められた2日間でした。

会場には分科会とは別に参加者同士の交流や休憩ができる「交流展示スペース」も常設し、愛媛での取り組みの様子や、周辺県の活動の様子、企業やNPOによる展示、愛媛や松山の観光案内なども発信していました。 大会1日目の晩には大会交流会も開催され、参加者同士の交流が進められました。

大会にあたり、愛媛県知事、松山市長、松山市小中学校PTA連合会会長、西条市教育委員会教育長の歓迎メッセージを頂戴しました。また多数の後援や協賛もいただきました。

全国の性的マイノリティ関連の団体をはじめ、教育関係者や行政担当者など、「今回得たものを地元に持ち帰って活用します」と口々におっしゃるなど熱気あふれる大会となりました。性的マイノリティの理解を進める動きが、この愛媛での大会をきっかけに全国へと拡がっていく、そのスタートを松山の地で行うことができたと同時に、地元愛媛においても大いに注目を高める機会となりました。（マスコミも6社取材）

大会パンフレットや冊子ホヤケン！2016秋号の大会リポートもご参照ください

収支報告

【収　入】　（単位:円）

費　目	金　額	内　容
補助金	100,000	松山市人推教育推進協議会 共催事業
負担金	986,800	協賛協力金483,000円 チケット売上金503,800円
合　計	1,086,800	

【支　出】　（単位:円）

費　目	金　額	内　容
使用料及び賃借料	101,720	会場利用料金、冷房使用料
役務費	193,828	配送事務委託料、受付事務委託料、HP作成委託費等
需用費	596,252	チラシ30,000枚（追加変更5回）、分科会資料印刷費、分科会準備費、配布パンフレット2,500部、消耗品、広報材料費等
団体活動資金	195,000	事務局運営費等
合　計	1,086,800	

レインボープライド愛媛